

## SC販売統計調査報告 2017年6月

既存SC前年同月比：+0.9%

### 夏のセール売上が貢献し、4ヶ月連続前年同月比プラス

#### <全体概況>

- ・6月度は総合で前年同月比+0.9%となり4ヶ月連続で前年を上回った。テナントは同+1.4%(4ヶ月連続プラス)。一方でキーテナントは同▲0.7%(7ヶ月連続でマイナス)となった。
- ・立地別(表1)の総合では、中心地域が同+1.4%、周辺地域が同+0.7%となり、両立地とも前年を上回った。総合で唯一前年同月比+2%台となった大都市中心地域は駅近くのSCのキーテナントが好調であった。一方で中都市中心地域のキーテナントは立地区分を改訂した2016年1月以降18ヶ月連続で前年を下回る厳しい状況が続いている。
- ・地域別(表2)では、9地域のうち前年を上回ったのが5地域(北海道、東北、関東、近畿、九州・沖縄)、下回ったのが4地域(中部、北陸、中国、四国)であった。
- ・都市規模別(表3)では、政令指定都市の総合が同+2.1%、その他の地域が同+0.1%となった。5月に引続き関東の政令指定都市(千葉市、東京区部、横浜市、川崎市)は4都市ともに前年を上回り好調だった。総合で前年比8.0%となった神戸市は周辺地域のSCは好不調が分かれたものの、中心地域では好調なSCが多くみられた。
- ・業種毎の販売動向をみると、テナントでは飲食、サービス、雑貨が好調、婦人衣料が不振と回答したSCが多くみられた。キーテナントについては、生鮮食品が好調で不振はテナントと同じく婦人衣料との回答が多くみられた。

#### <トピックス>

6月度は前年同月比+0.9%となり4ヶ月連続で前年を上回った。回答をみるとプレセールが比較的好調だったほか、夏のセール開始時期を昨年の7月1月から6月30日に早めたことが売上に寄与したとの回答がみられた。一方で前年を下回ったSCについては売上が伸び悩む中都市中心地域などでテナントの退店を不振の理由とするSCがみられた。

※サンプル数:503SC (回収率50.3%)

※本調査は、2015年12月末現在の全SC3,195SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※当協会のSC販売統計調査報告は、政府統計に合わせて消費税を含めて算出しております。

※SC総売上高(推計)は、年間総売上高として別途発表させていただきます。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント	
総合	503	0.9	1.4	▲0.7	
地域中心	大都市	66	2.4	2.1	6.5
	中都市	73	▲0.6	▲0.7	▲0.2
	小計	139	1.4	1.2	3.2
周辺地域	364	0.7	1.5	▲1.3	

(注)

■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市

中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

■立地

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む162都市)で、商業機能が集積した中心市街地

周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

立地(SC数)	地域										
	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
総合	503	0.9	1.6	1.1	1.4	▲0.8	▲2.9	1.7	▲2.2	▲3.4	3.0
中心地域	139	1.4	4.2	5.1	2.1	▲2.6	1.1	0.2	▲1.5	▲3.3	2.3
周辺地域	364	0.7	▲3.0	▲0.5	1.1	▲0.3	▲4.0	2.2	▲2.7	▲3.4	3.5
(SC数)	503	17	32	198	60	33	88	29	11	35	

(注) ■地域

北海道:北海道

東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県

中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別  
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	503	0.9	1.4	▲ 0.7	
政 令 指 定 都 市	札幌市	11	2.2	2.2	-
	仙台市	5	6.7	6.7	-
	千葉市	4	0.8	0.8	-
	東京区部	56	2.1	1.4	4.5
	横浜市	15	2.2	2.4	1.2
	川崎市	8	2.8	2.9	2.7
	名古屋市	12	▲ 2.6	▲ 3.1	▲ 0.3
	京都市	7	▲ 2.5	▲ 2.4	▲ 2.7
	大阪市	20	0.9	1.1	▲ 1.5
	神戸市	18	8.0	9.7	▲ 1.5
	広島市	9	0.3	0.3	▲ 0.4
	北九州市	2	▲ 3.0	▲ 3.4	▲ 0.7
	福岡市	9	5.5	6.1	▲ 3.3
	小 計	176	2.1	2.1	2.0
そ の 他 の 地 域	北海道	6	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 1.5
	東北	27	▲ 1.0	0.2	▲ 3.5
	関東	115	0.8	1.1	▲ 0.7
	中部	48	▲ 0.3	0.3	▲ 2.2
	北陸	33	▲ 2.9	▲ 1.8	▲ 4.6
	近畿	43	1.0	1.9	▲ 1.4
	中国	20	▲ 3.2	▲ 2.8	▲ 3.8
	四国	11	▲ 3.4	▲ 4.7	▲ 1.9
	九州・沖縄	24	2.5	3.8	▲ 1.0
小 計	327	0.1	0.8	▲ 1.8	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、

堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が、2012年4月は熊本市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、堺市は近畿地域、岡山市は中国地域、熊本市は九州・沖縄地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別  
売上高伸長率

キー業態	SC数	%	
総 合	503	0.9	
核なし	285	2.0	
1 核	Dpt	11	3.2
	GMS	115	▲ 1.8
	SM	39	1.0
	SS	2	3.6
	HC	1	0.0
	専門店	4	0.6
	生協	5	▲ 1.3
	Dgs	2	▲ 5.0
	小 計	179	▲ 0.5
	2 核	Dpt+GMS	1
Dpt+SM		2	0.2
GMS+SM		2	▲ 2.2
GMS+HC		1	0.8
GMS+専門店		5	1.6
SM+SS		3	▲ 7.0
SM+HC		1	2.9
SM+DS		-	-
SM+専門店		9	2.4
生協+HC		1	▲ 1.0
その他		6	1.9
小 計	31	0.2	
3核 以上	Dpt+GMS+HC	1	▲ 1.7
	その他	7	0.7
小 計	8	0.6	

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均 面積(m <sup>2</sup> )
			(千円)	前年比	(実効 m <sup>2</sup> )	前年比			
SC 総合	総合	503	498,230,554	0.9	9,810,957	0.6	990,518	168	19,505
	中心地域	139	154,340,200	1.4	1,907,564	0.0	1,110,361	267	13,723
	大都市	66	102,944,734	2.4	1,078,036	0.8	1,559,769	315	16,334
	中都市	73	51,395,466	▲ 0.6	829,529	▲ 0.9	704,047	204	11,363
	周辺地域	364	343,890,354	0.7	7,903,393	0.7	944,754	144	21,713
テナント	総合	503	394,624,025	1.4	7,223,044	0.8	784,541	180	14,360
	中心地域	139	139,437,419	1.2	1,720,209	0.0	1,003,147	267	12,376
	大都市	66	95,160,319	2.1	1,017,193	0.8	1,441,823	309	15,412
	中都市	73	44,277,100	▲ 0.7	703,017	▲ 1.1	606,536	208	9,630
	周辺地域	364	255,186,606	1.5	5,502,835	1.1	701,062	153	15,118
キーテナント	総合	218	103,606,529	▲ 0.7	2,587,913	▲ 0.1	475,259	132	11,871
	中心地域	20	14,902,781	3.2	187,355	0.0	745,139	262	9,368
	大都市	4	7,784,415	6.5	60,843	0.0	1,946,104	422	15,211
	中都市	16	7,118,366	▲ 0.2	126,512	0.0	444,898	186	7,907
	周辺地域	198	88,703,748	▲ 1.3	2,400,558	▲ 0.1	447,999	122	12,124

注:売上高(総合)は、調査対象503SCの合計値です。

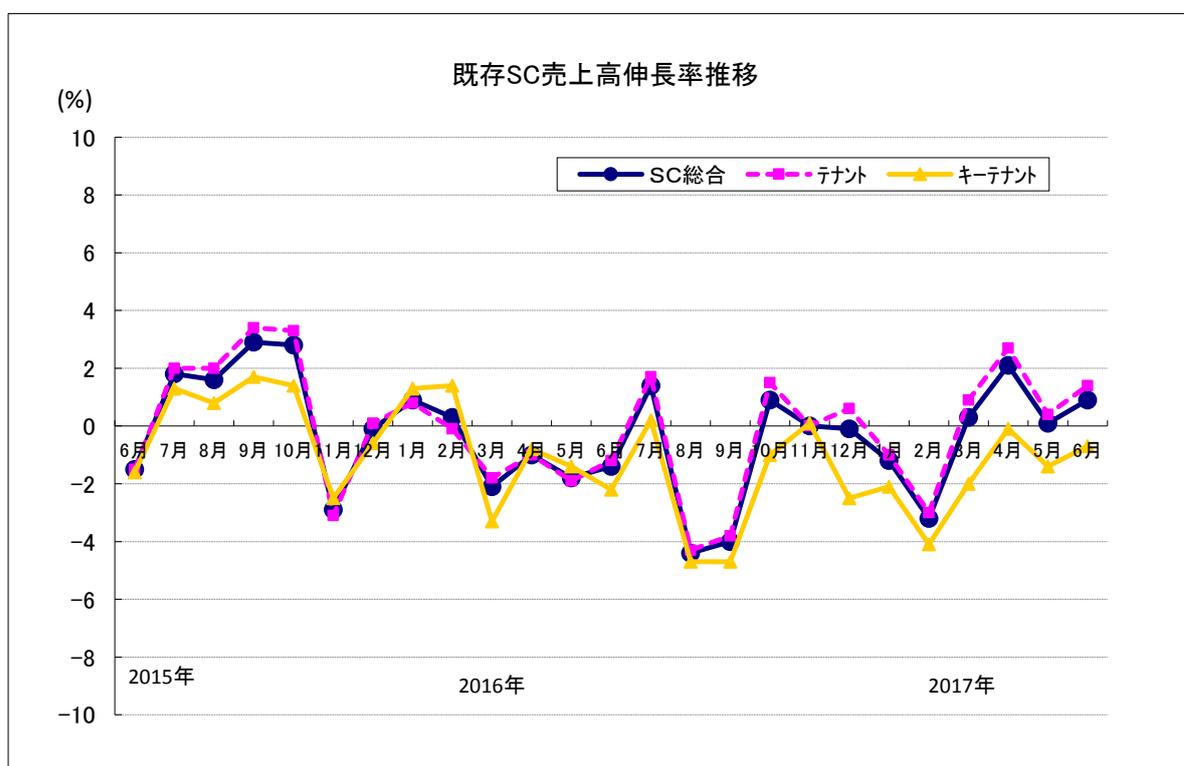


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
	16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4
2015上半期	(1～6月)	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 2.2	▲ 1.9	0.0
2015下半期	(7～12月)	0.9	1.1	0.4	1.4	1.4
2016上半期	(1～6月)	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 2.8	0.4
2016下半期	(7～12月)	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 1.1
2015四半期別	(1～3月)	▲ 4.3	▲ 3.2	▲ 7.1	▲ 8.6	▲ 4.0
	(4～6月)	2.2	1.8	3.3	6.4	4.1
	(7～9月)	2.0	2.1	1.5	2.7	2.3
	(10～12月)	▲ 0.1	0.0	▲ 0.5	0.3	0.5
2016四半期別	(1～3月)	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 1.6	1.7
	(4～6月)	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 0.8
	(7～9月)	▲ 2.4	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 3.4	▲ 2.0
	(10～12月)	0.3	0.6	▲ 1.1	▲ 2.5	▲ 0.3
2016 月別	1月	0.9	0.8	1.3	▲ 1.9	2.3
	2月	0.3	▲ 0.1	1.4	0.2	3.4
	3月	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 3.3	▲ 2.9	▲ 0.3
	4月	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 3.8	▲ 0.7
	5月	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 5.1	▲ 1.3
	6月	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 3.5	▲ 0.5
	7月	1.4	1.7	0.2	▲ 0.1	0.2
	8月	▲ 4.4	▲ 4.3	▲ 4.7	▲ 6.0	▲ 2.9
	9月	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 4.7	▲ 5.0	▲ 3.2
	10月	0.9	1.5	▲ 1.0	▲ 3.9	0.6
	11月	0.0	0.0	0.1	▲ 2.4	0.8
	12月	▲ 0.1	0.6	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 2.0
2017 月別	1月	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 1.6
	2月	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 3.3
	3月	0.3	0.9	▲ 2.0	▲ 0.9	▲ 1.8
	4月	2.1	2.7	▲ 0.1	0.7	0.6
	5月	0.1	0.4	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8
	6月	0.9	1.4	▲ 0.7	1.4	
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店 協会	チェーン ストア協 会	